

## 小石川消防団始式を挙行



1月15日(日)、昨年10月にリニューアルオープンした文京シビックホール小ホールにて、年頭恒例の小石川消防団始式を挙行しました。

式でははじめに、日ごろの消防団活動において特に功績のあった団員や、長年にわたり団員を支えてこられたご家族に対する各種表彰の授与が行われた後、成澤文京区長や消防総監(代理・手塚第五消防方面本部長)をはじめご臨席の皆さまから、新年のご挨拶とご祝辞を賜りました。また、昨年中に入団した新入団員が紹介され、一同を代表して第2分団の國本団員が力強く決意表明を行いました。

地域行事や消防・防災関連の各種行事が再開され、徐々に“コロナ前”の日常を取り戻しつつあるなか、小石川消防団は地域防災力の維持・向上に向けて、よりいっそう精進してまいります。

## 消防団員街頭一斉募集活動を実施

1月19日(木)、毎年1月15日に制定されている“Tokyo消防団の日”にあわせ、後樂園駅、茗荷谷駅、護国寺駅、千石駅の4か所で消防団員街頭一斉募集活動を行いました。



全国的に消防団員数が減少傾向にあり、地域防災力の低下が危惧される現在、小石川消防団も充足率の向上を重要な課題として位置付け、このような街頭一斉募集活動を今年度からは年4回行っていくこととしました。

この活動のほか、団員募集は常時行っていますので、ご関心のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

## 文化財防火デー消防演習に参加

1月25日(水)、大本山護国寺にて第69回文化財防火デーに伴う消防演習が行われました。

首都直下を震源とする震度6強の地震により本堂で法要中に火災が発生したという想定のもと、小石川消防団は第1,第4分団が可搬ポンプ積載車からホースを延長し、消防署隊や各自衛消防隊と連携した訓練を行い、最後に本堂に向けた一斉放水で演習を締めくくりました。



## 第47回小石川地区防災コンクール

2月18日(土)、文京スポーツセンターにて、第47回小石川地区防災コンクールが開催されました。

第44,45,46回がコロナ禍で中止となり、4年ぶりの開催となった今回は、16の町会・自治会が地震発生に伴う初動処置,初期消火,救出,搬送,応急救護等を競い合い、小石川消防団は選手の誘導,タイム測定,競技管理,資器材準備等を行い、競技のスムーズな進行を支援しました。



いずれの町会・自治会も日頃の地道な訓練成果が存分に発揮されるなか、大塚坂下北町会が第42回以来の優勝となったほか、永年参加町会・自治会への特別表彰も行われました。

## 第51回東京都消防操法大会に向けて

小石川消防団は、今年10月に開催予定の第51回東京都消防操法大会に向けた訓練を昨年11月から行っています。

2月には出場選手が、指揮者:高柳能將副分団長(第2分団)、1番員:澤卓朗団員(第3分団)、2番員:岡村幸斗団員(第4分団)、3番員:斎藤 薫班長(第4分団)、4番員:二ノ宮雅登副分団長(第3分団)に決定し、3月に入ってから放水を行う訓練も始まりしました。

経験を積んだ選手に加え、1番員,2番員が都大会初出場の20代、若い力を中心に小石川消防団悲願の優勝を目標に訓練に励んでいます。

